



六反ヶ丸遺跡現地説明会 会場図

平成30年11月10日(土)

① 出土品展示館

発掘調査中に出土した貴重な遺物を、古墳時代・古代・中世・近世の時代別に分かりやすく展示してあります。出土例の少ない青銅製の小形仿製鏡(ぼうせいきょう)や鈴は必見です。



小形仿製鏡

土器集中

青銅製鈴

！見学ポイントの見所を紹介します！

⑥ 石組遺構

② 発掘調査見学

遺跡の発掘調査がどのように行われているか、実際の作業風景や実測の様子を見ることができます。



「ウッガンサー」と呼ばれ、信仰の対象として大切に守られてきた場所から発見された石組遺構を調査中です。巨木を中心に小石が敷き詰められた塚、円形や方形に並べられた石組。さらに下層からも石組遺構が見つかっています。



調査前状況

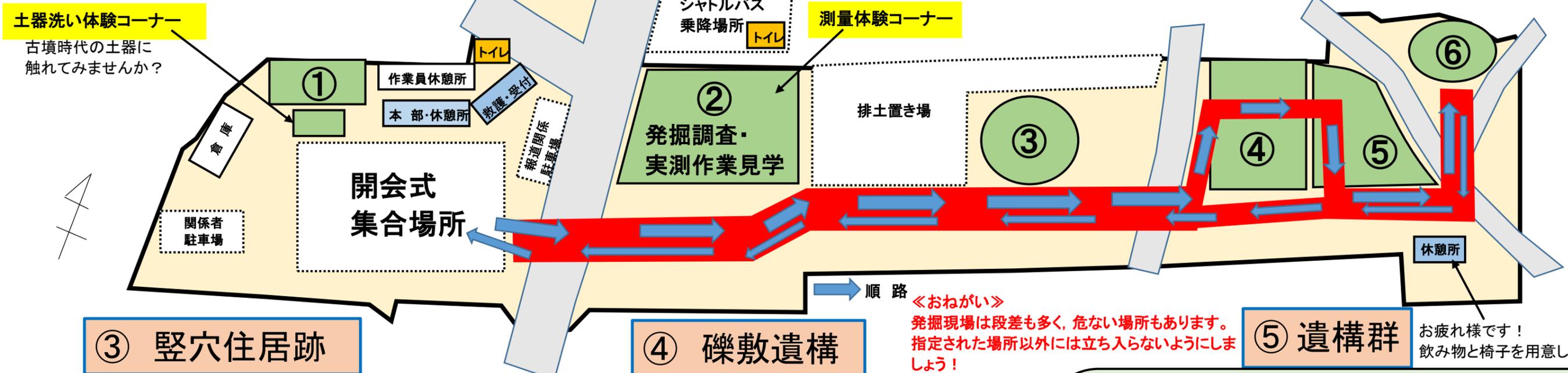
石組遺構1号

下部構造

土器洗い体験コーナー

古墳時代の土器に触れてみませんか？

測量体験コーナー



③ 縦穴住居跡

直径が約8mもある大型の縦穴住居跡を発掘調査しています。古墳時代の縦穴住居跡は計7軒(10月末現在)発見されており、円形で内側に段を持つという特徴が見られます。



縦穴住居跡4号

縦穴住居跡5号

④ 礫敷遺構

東西の丘に挟まれた凹地に、自然礫を密に敷き詰めた平坦面が現れました。幅約12mの礫敷は、ほぼ南北方向に向かって直線的に延びており、出土遺物や礫敷の構造などから古代の道路(官道)跡の一部である可能性がでてきています。広大な礫敷を体感してください。



礫敷遺構 全景

礫敷遺構 断面

礫敷遺構 近撮

⑤ 遺構群

お疲れ様です！
飲み物と椅子を用意しています。

古墳時代の縦穴住居跡、古代の土器焼成土坑、近世の掘立柱建物跡など、時代の異なる遺構をほぼ同じ段丘状で一度に見学することができます。米ノ津川の氾濫域の中でも、微高地となっており、古墳時代以降、生活に適した場所だったと考えられます。土器焼成土坑の壁の色にも注目！



縦穴住居跡2号(1700年前)

土器焼成土坑(1200年前)

掘立柱建物跡(江戸時代)

順路 <<おねがい>>
発掘現場は段差も多く、危ない場所もあります。
指定された場所以外には立ち入らないようにしましょう！

